



あわらし市春宮一丁目の竹田川近くの道路脇に、隠れて誰からも忘れられたかのように石碑が建っている。石碑正面には「仲仕組創立総会之碑」と読む中国の古代文字が刻まれている。

「仲仕」とは船の貨物をかついで運ぶ作業員のこと。裏面には仲仕の名前がびっしり。190

金津仲仕組合顕彰の碑 (あわら)

江戸時代、金津の人々は竹田川の水運を利用して北前船の寄港地「三国」と物資のやりとりを行っていた。金津の船着き場では、屈強な肉体を誇った多くの金津仲仕たちが、物資の運搬に精を出していたという。

明治に入ると全国で鉄道が普及。金津でも1897 (明治30) 年に北陸本線金津駅が完成し、物資輸送の主役は水運から陸運へとシフトした。この変革期に、時代に即した物流組織をつくらねばなら

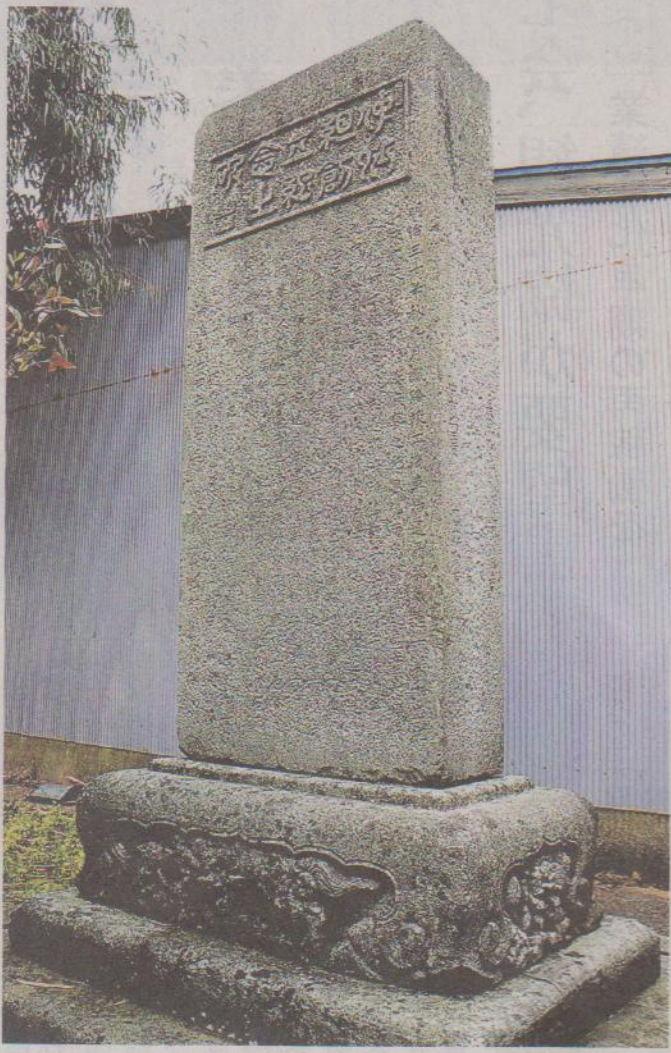


「水陸荷役」生き様今に

1 (明治34) 年に設立された運送会社「金津仲仕組合」を顕彰する石碑だ。津津仲仕組合を設立。従事と地元歴史愛好家牧田孝男さん(63)が教えてく

1 (明治34) 年に設立された運送会社「金津仲仕組合」を顕彰する石碑だ。津津仲仕組合を設立。従事と地元歴史愛好家牧田孝男さん(63)が教えてく

1 (明治34) 年に設立された運送会社「金津仲仕組合」を顕彰する石碑だ。津津仲仕組合を設立。従事と地元歴史愛好家牧田孝男さん(63)が教えてく



河川輸送を担った金津仲仕組合を顕彰する石碑—あわらし市春宮一丁目

Econ Repu 2日

日中韓経済貿易担当相会合を前に握手する、(右から)枝野経産相、中国の陳徳銘商務相、韓国外交通商省の朴泰鎬通商交渉本部長。12日午後、北京

の前段として、知的財産権の保護強化などを定めた投資協定に署名する。中韓へ工業製品の輸出を増やしたい日本は3カ国FTAを重要視。中国

の役割は急速に衰退。金津仲仕の活躍の場もめったにメリットがあるとして、投資協定は、中国進出の領有権問題に加え、最近も南京事件をめぐる名

あなたのまちの「世間遺産」の情報をお寄せください。houdou@fukuishimbu.co.jp FAX=0776(57)5145。〒910-8552 福井新聞社編集局社会部へ。

夏に北電が

政府が夏の最大需要の節電目標の言葉Sの言葉Sの言葉Sの言葉を検討して日、分かつ周波数が、じ60分で電すい利点をい電力不足関電に余刺供給力を下(4面)

政府は関%程度の節方向で検討量が增えれ電力使用制については避